学校番号	４０９

平成 31 年度　国語科

教科	国語	科目	国語総合	単位数	４単位	年次	１年次
使用教科書	「新　高等学校　国語総合」（明治書院）						
副教材等	「基本級別漢字」（浜島書店） 「新版四訂新訂総合国語便覧」（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１年生では社会人に必要となる基礎的な国語の力を身につけることを心がけましょう。
・話し合いや発表、あるいは文章記述など、アクティブな活動を取り入れた授業も行います。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や、意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身につけてください。
・古典の時間では、有名な古文と漢文の作品に親しむとともに、正しく心情等を理解するために語彙力や文法の知識をしっかりと身につけてください。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業の後には内容を振り返って復習してください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて望んでください。

2　学習の到達目標

・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 （発表等の評価）	記述の確認及び分析 （ワークシート、原稿用紙）	記述の確認及び分析 （ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	随想の内容を理解するⅠ	【近代以降】 教材:「どうすれば虹の根もとに行けるか」	○			◎	○	a：人物、情景、心情などを、書き手がどうしてこのように書いているのかを捉え、作品の雰囲気に対して果たしている効果に気付こうとしている。 d：人物、情景、心情などを、書き手がどうしてこのように書いているのかを捉え、作品の雰囲気に対して果たしている効果に気付いている。 e：文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a：行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認と分析及び定期考査
	自分について語る	【近代以降】 〈自分の好きなものを紹介し合って、話し方聞き方を学ぶ〉 教材:「発表する」 ワークシート	○	◎			○	a：何のために、誰に向かって、どのような条件で話すのかを考えようとしている。 b：何のために、誰に向かって、どのような条件で話すのかを考えている。 e：話すこと・聞くことに必要な文の組立について理解している。	a、b、e: 行動の観察と確認
	詩を味わう	【近代以降】 教材:「サーカス」	○			◎	○	a：人物、情景、心情などを、書き手がどのように描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。 d：人物、情景、心情などを、書き手がどのように描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付いている。 e：文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a：行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認と分析及び定期考査
	小説の内容を理解するⅠ	【近代以降】 教材:「海の方の子」	○			◎	○	a：人物、情景、心情などを、書き手がどうしてこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。 d：人物、情景、心情などを、書き手がどうしてこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付いている。 e：文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a：行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認及び定期考査

1学期	評論の内容を理解するⅠ	【近代以降】 教材: 「水の東西」	○			◎	○	a：考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえようとしている。 d：考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえている。 e：正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a、行動の観察及び記述の点検 d：記述の確認及び定期考査 e:小テスト
	意見文を書く	【近代以降】 〈評論についての意見文を書く〉 教材:「意見文」 ワークシート	○		◎		○	a：文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方で書こうとしている。 c：文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方で書いている。 e：書くことに必要な、文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a, c, e 記述の点検と確認
	古典入門	【古典】 教材:「なぜ古典を学ぶのか」 歴史的仮名遣い 五十音図といろは歌 有名作品の冒頭部分 『宇治拾遺物語』 (「児のそら寝」「検非違使忠明」)	○			◎	○	a:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 d:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 e:古文を読むことに役立つ文語のきまりを身につけている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期テスト
2学期	小説の内容を理解するⅡ	【近代以降】 教材:「羅生門」	○			◎	○	a：人物、情景、心情などを、書き手がどうしてこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。 d：人物、情景、心情などを、書き手がどうしてこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付いている。 e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認及び定期考査
	文学を創造する	【近代以降】 〈「羅生門」の続きを書く〉 教材: ワークシート 原稿用紙	○		◎		○	a：物事の様子や場面などを、読み手が言葉を通してありありと想像できるよう描こうとしている。 c：物事の様子や場面などを、読み手が言葉を通してありありと想像できるよう描いている。 e：書くことに必要な、文の組立について理解している。	a、c、e: 記述の点検と確認及び分析

2学期	本を紹介する	【近代以降】 〈読んだ本を紹介する〉 教材:ブックトーク ワークシート	○	◎			○	a:話す内容について資料などに当たって幅広く調べようとしている。 b:話す内容について資料などに当たって幅広く調べている。 e:話すこと・聞くことに必要な文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a、b、e 行動の観察と確認
	随想の内容を理解するⅡ	【近代以降】 教材:「待つことの形」	○			◎	○	a:人物、情景、心情などを、書き手がどうしてこのように書いているのかを捉え、作品の雰囲気に対して果たしている効果に気付こうとしている。 d:人物、情景、心情などを、書き手がどうしてこのように書いているのかを捉え、作品の雰囲気に対して果たしている効果に気付いている。 e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認と分析及び定期考査
	短歌を味わう	【近代以降】 教材:「短歌」	○			◎	○	a:人物、情景、心情などを、書き手がどのように描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。 d:人物、情景、心情などを、書き手がどのように描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付いている。 e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認と分析及び定期考査
	古典の物語と和歌を読む	【古典】 教材: 『伊勢物語』 (「芥川」「筒井筒」) 『万葉集』 『古今和歌集』 『新古今和歌集』	○			◎	○	a:文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。 d:文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしている。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身につけている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

2学期	漢文入門	【古典】 教材:「漢文入門」 故事成語「蛇足」 句法等･･･訓点、 再読文字	○			◎	○	a：我が国の言語文化は、中国をはじめとする外国の文化の受容とその変容を繰り返しつつ築かれてきたことに気付こうとしている。 d：我が国の言語文化は、中国をはじめとする外国の文化の受容とその変容を繰り返しつつ築かれてきたことに気付いている。 e：漢文を読むことに役立つ、文語のきまりを身につけている	a：行動の観察及び記述の点検 d：記述の確認及び定期考査 e：小テスト及び定期考査
3学期	ディベートを行う	【近代以降】 〈ディベートを通して、互いの考えを深めながら、話し方聞き方について学ぶ〉 教材:「ディベート」 ワークシート	○	◎			○	a：相手の考えを踏まえて自分の考えを説明したり、考えを相対化したりして話し合おうとしている。 b：相手の考えを踏まえて自分の考えを説明したり、考えを相対化したりして話し合っている。 e：話すこと、聞くことに必要な、文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a、b、e: 行動の観察と確認及び分析
	小説の内容を理解するⅢ	【近代以降】 教材:「富嶽百景」	○			◎	○	a：人物、情景、心情などを、書き手がどうしてこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。 d：人物、情景、心情などを、書き手がどうしてこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付いている。 e：文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a：行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認及び定期考査
	手紙を書く	【近代以降】 教材:「手紙を書く」 ワークシート	○		◎		○	a：読み手を想定して、自分の思いを適切に伝える手紙を書こうとしている。 c：読み手を想定して、自分の思いを適切に伝える手紙を書いている。 e：手紙の基本構成を理解している。	a、c、e: 記述の点検と確認及び分析

3学期	古文の説話を読む	【古典】 教材: 『徒然草』 (「つれづれなるままに」「花は盛りに」)	○			◎	○	a：文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。 d：文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしている。 e：古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身につけている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	様々な漢文を読む	【古典】 教材: 詩「春暁」「春望」 思想『論語』	○			◎	○	a：考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確に捉えようとしている。 d：考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確に捉えている。 e：漢文を読むことに役立つ、訓読のきまりを身に付けている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。